

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
東京座掛合評 [明治34・2東京座]	劇評	三木竹二 永井素岳		歌舞伎(第一次)	第10号	明治34年3月 歌舞伎発行所
劇文概観 其六 評論 運命悲劇を論ず[ウエルネル「二月二十四日」と「三人吉三」]	評論	山岸光宣 帝国文学		歌舞伎(第一次)	第72号	明治39年4月 歌舞伎発行所
中央劇壇の一月[明治42・1明治座]	劇評	青々園 春浦生		歌舞伎(第一次)	第103号	明治42年2月 歌舞伎発行所
舞台裏から見た「三人吉三」 [明治43・1演伎座]	劇評型	森ほのほ		歌舞伎(第一次)	第115号	明治43年2月 歌舞伎発行所
観劇日録 演伎座 [明治43・1演伎座]	劇評	青々園		歌舞伎(第一次)	第115号	明治43年2月 歌舞伎発行所
劇談会(三)脚本の名題	解説	前田芳柳		歌舞伎(第一次)	第116号	明治43年3月 歌舞伎発行所
横浜の春芝居 [明治43・12横浜喜楽座]	劇評	山野芋作		歌舞伎(第一次)	第128号	明治44年2月 歌舞伎発行所
横浜初春興業の時間 [明治43・12横浜喜楽座]	記録	岸田千代三		歌舞伎(第一次)	第128号	明治44年2月 歌舞伎発行所
劇談会 女形から立役[お嬢吉三]	評伝	虎外子	《6》市川門之助	歌舞伎(第一次)	第129号	明治44年3月 歌舞伎発行所
黙阿弥著作解題(其六)	解説梗概	河竹繁俊		歌舞伎(第一次)	第146号	明治45年8月 歌舞伎発行所
黙阿弥翁の事ども	評伝	関根黙庵		歌舞伎(第一次)	第175号	大正4年1月 歌舞伎発行所
日本古劇の研究「三人吉三廓初買」	研究	永井荷風 久保田万太郎 吉井勇 楠山正雄 小山内薫		三田文学	大正4・2	三田文学会
中座の「三人吉三」 [大正4・5大阪中劇場]	劇評	玫琉盤		演芸画報	大正4・6	演芸倶楽部
「三人吉三」の最初の幕	研究	河竹繁俊		三田文学	大正4・10	三田文学会
吉三のいろいろ	解説	厚見老人		演芸画報	大正5・2	演芸倶楽部
文里と慈悲蔵	芸談		《11》片岡仁左衛門	演芸画報	大正5・2	演芸倶楽部
三人吉三 [大正5・1歌舞伎座][二筋道曲輪初夢]	見たまま	吉丁子		演芸画報	大正5・2	演芸倶楽部
正月の三座 [大正5・1歌舞伎座]	劇評	中内蝶二		演芸画報	大正5・2	演芸倶楽部
仲蔵の逸話	その他	永井鳳仙		演芸画報	大正5・3	演芸倶楽部
弁妄[「三人吉三」の伝吉]	その他		《2》市川段四郎	演芸画報	大正5・4	演芸倶楽部

三人吉三廓初買につきて	研究	永井荷風		『世話狂言の研究』		大正5年11月 天弦堂書房 古劇研究会／編
「三人吉三廓初買」	研究	吉井勇		『世話狂言の研究』		大正5年11月 天弦堂書房 古劇研究会／編
土左衛門伝吉について	研究	久保田万太郎		『世話狂言の研究』		大正5年11月 天弦堂書房 古劇研究会／編
半四郎の顔	研究	楠山正雄		『世話狂言の研究』		大正5年11月 天弦堂書房 古劇研究会／編
三人吉三	研究	木下杢太郎		『世話狂言の研究』		大正5年11月 天弦堂書房 古劇研究会／編
「三人吉三」の最初の幕	研究	河竹繁俊		『世話狂言の研究』		大正5年11月 天弦堂書房 古劇研究会／編
「三人吉三」随筆	研究	小山内薫		『世話狂言の研究』		大正5年11月 天弦堂書房 古劇研究会／編
観劇合評 [大正5・1歌舞伎座][二筋道曲輪初夢]	劇評	楠山正雄 小山内薫 長田秀雄 木下杢太郎 久保田万太郎 吉井勇		『世話狂言の研究』		大正5年11月 天弦堂書房 古劇研究会／編
三人吉三 [大正8・1宮戸座]	見たまま	赤阪新五		花形	大正8・3	玄文社
三人吉三巴白浪 [大正9・2市村座][舞台面]	スケッチ	久野草仙		演芸画報	大正9・3	演芸倶楽部
特集 市村座の「三人吉三巴白浪」	特集			演芸画報	大正9・3	演芸倶楽部
市村座の「三人吉三巴白浪」 「三人吉三」雑感	評論	岡本綺堂		演芸画報	大正9・3	演芸倶楽部
市村座の「三人吉三巴白浪」 「三人吉三」雑感 [大正9・2市村座]	劇評	久保田世音		演芸画報	大正9・3	演芸倶楽部
市村座の「三人吉三巴白浪」 市村座の三人吉三 [大正9・2市村座]	劇評	灰野庄平		演芸画報	大正9・3	演芸倶楽部
東京二月芝居評判の役々 東蔵の土左衛門伝吉 [大正9・2市村座]	劇評	池田大伍		演芸画報	大正9・3	演芸倶楽部
三人吉三巴白浪 [大正9・2市村座]	見たまま	浜野ゆき		演芸画報	大正9・9	演芸倶楽部
三人吉三巴白浪 [大正10・1歌舞伎座]	スケッチ			演芸画報	大正10・2	演芸倶楽部
三人吉三巴白浪 芝居合評会 [大正10・1歌舞伎座]	劇評	伊原青々園 岡田八千代 岡村柿紅 川尻清潭 久保田万太郎 久保田米斎		新演芸	大正10・2	玄文社
黙阿弥と因果物語／「三人吉三」と「網模様燈籠菊桐」	鑑賞	本間久雄		『男女三角関係物語』		大正10年7月 新潮社

春狂言十種 三人吉三廓初買	解説	水木京太		演芸画報	大正14・1	演芸画報社
「孤城落月」と「三人吉三」	研究	伊原青々園		歌舞伎(第二次)	大正14・6	歌舞伎出版部
「三人吉三」の事	研究	河竹繁俊		歌舞伎(第二次)	大正14・6	歌舞伎出版部
随筆三人吉三	研究	三田村鳶魚		歌舞伎(第二次)	大正14・6	歌舞伎出版部
三人吉三巴白浪 [大正14・6歌舞伎座]	見たまま	吉の字		歌舞伎(第二次)	大正14・6	歌舞伎出版部
世話狂言集成 お嬢吉三	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	大正14・7	演芸画報社
世話狂言集成 お坊吉三	芸談		《1》中村吉右衛門	演芸画報	大正14・7	演芸画報社
世話狂言集成 和尚吉三	芸談		《2》市川左団次	演芸画報	大正14・7	演芸画報社
世話狂言集成 三人吉三巴白浪 [大正14・6歌舞伎座]	見たまま	山上町人		演芸画報	大正14・7	演芸画報社
河内山宗春余談	研究	三田村鳶魚		『鳶魚劇談』		大正14年9月 春陽堂
随筆三人吉三	研究	三田村鳶魚		『鳶魚劇談』		大正14年9月 春陽堂
三人吉三注文帳 [大正14・6歌舞伎座]	劇評	三田村鳶魚		『鳶魚劇談』		大正14年9月 春陽堂
三人吉三 三人吉三廓初買	考証	渋谷吾往齋		『劇と史実』		昭和2年4月 聚文館
女に化けた男[お嬢吉三]	鑑賞	渥美清太郎		『歌舞伎狂言往来』		昭和2年6月 歌舞伎出版部
はるしばみ百題 梶原とお坊吉三	芸談		《1》中村吉右衛門	演芸画報	昭和4・1	演芸画報社
東劇二月狂言「歌舞伎」評判記 [昭和7・2東京劇場]	劇評	本間久雄		演芸画報	昭和7・3	演芸画報社
「三人吉三」芝居情景 [昭和7・2東京劇場]	見たまま	長崎むらんど		演芸画報	昭和7・3	演芸画報社
歌舞伎劇のクライマックス 三人吉三	解説	久保琴舟		演芸画報	昭和10・1	演芸画報社
初春歌舞伎座見物記 [昭和10・1歌舞伎座]	劇評	真船豊		演芸画報	昭和10・2	演芸画報社
「三人吉三」の思ひ出	随筆	萩野白露		演芸画報	昭和10・2	演芸画報社
観劇通信 [昭和10・1歌舞伎座]	劇評	渥美清太郎		演芸画報	昭和10・2	演芸画報社

無線電話(11)[お嬢吉三]	演出	花水庵		演芸画報	昭和10・2	演芸画報社
三人吉三	解説	本間久雄		『歌舞伎 研究と鑑賞』		昭和22年12月 天絃社
大阪歌舞伎座 [昭和13・3大阪大阪歌舞伎座]	劇評	森ほのほ		演芸画報	昭和13・4	演芸画報社
東京都劇場だより [昭和23・2三越劇場]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和23・3	和敬書店
紙上舞台 三人吉三	解説	戸板康二		幕間	昭和23・12	和敬書店
薄れた上方色 [昭和23・12大阪大阪歌舞伎座]	劇評	北岸佑吉		幕間	昭和24・1	和敬書店
女形のお嬢吉三	芸談		《7》尾上梅幸	劇評	昭和26・10	「劇評」社
源氏物語の再演 [昭和26・10歌舞伎座]	劇評	仁村美津夫		劇評	昭和26・10	「劇評」社
幕間随想 女形のお嬢吉三	芸談		《7》尾上梅幸	幕間	昭和26・11	和敬書店
特輯 歌舞伎の音響効果 三人吉三巴白浪	演出	守随憲治・ 岡崎玲子・ 小林元江／校閲		幕間	昭和26・11	和敬書店
「対面」「寺子屋」「三人吉三」 [昭和26・10歌舞伎座]	劇評	本郷三四郎		幕間	昭和26・12	和敬書店
鑑賞読本 三人吉三巴白浪	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	昭和28・1	演劇出版社
道節とお坊吉三	芸談		《9》市川海老蔵	劇評	昭和28・2	「劇評」社
通し狂言「三人吉三」 [昭和28・1新橋演舞場]	劇評	戸板康二		劇評	昭和28・2	「劇評」社
通し狂言二筋道 [昭和28・1新橋演舞場]	劇評	本山荻舟		幕間	昭和28・2	和敬書店
菊五郎劇団の正札 [昭和28・4名古屋御園座]	劇評	大鋸時生		劇評	昭和28・5	「劇評」社
菊五郎劇団あれこれ [昭和28・4名古屋御園座]	劇評	大鋸時生		幕間	昭和28・5	和敬書店
左団次の誠実 [昭和28・11大阪大阪歌舞伎座]	劇評	沼艸雨		演劇界	昭和28・11	演劇出版社
「三人吉三」の通し [昭和28・11大阪大阪歌舞伎座]	劇評	菱田正男		劇評	昭和28・12	「劇評」社
菊五郎劇団評判記 [昭和28・11大阪大阪歌舞伎座]	劇評	升屋治三郎		幕間	昭和28・12	和敬書店
鑑賞読本 切られ与三と三人吉三	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	昭和30・11	演劇出版社

東横ホールのもつ意義 [昭和30・10東横ホール]	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和30・11	演劇出版社
破れても古典へ [昭和30・10東横ホール]	劇評	三宅周太郎		劇評	昭和30・11	「劇評」社
幕間随想 苦しみづくめ〔和尚吉三〕	芸談		《4》河原崎権三郎	幕間	昭和30・11	和敬書店
幕間随想 三通りの女方役〔お嬢吉三〕	芸談		《2》大川橋蔵	幕間	昭和30・11	和敬書店
舞台鑑賞手引「三人吉三」小観	解説	加賀山直三		幕間	昭和31・1	和敬書店
三人吉三おぼえ書	型	三宅三郎		演劇界	昭和31・3	演劇出版社
「三人吉三」その他 [昭和31・2歌舞伎座]	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和31・3	演劇出版社
凡調・非凡調 [昭和31・2歌舞伎座]	劇評	三宅周太郎		劇評	昭和31・3	「劇評」社
三人吉三のお坊	芸談	三宅三郎	《8》松本幸四郎	『かぶきを見る眼』		昭和31年9月 新樹社
はらにたまらぬおせつ芝居 [昭和32・1新橋演舞場]	劇評	青江舜二郎		演劇界	昭和32・2	演劇出版社
初春興行の黙阿弥世話物二つ [昭和32・1新橋演舞場]	劇評	加賀山直三		劇評	昭和32・2	「劇評」社
八の字を忘れた新薄雪 [昭和32・1新橋演舞場]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和32・2	和敬書店
常盤座の花形歌舞伎 見物記 [昭和32・10常盤座]	劇評	若松三郎		劇評	昭和32・11	「劇評」社
幕間随想 浅草の良さ〔お嬢吉三〕	芸談		《6》中村芝雀	幕間	昭和32・11	和敬書店
延二郎が好演「研辰」もり上らない「にこりえ」 [昭和33・4大阪中座]	劇評	菱田雅夫		劇評	昭和33・5	「劇評」社
延二郎の大活躍 [昭和33・4大阪中座]	劇評	関逸雄		幕間	昭和33・5	和敬書店
幕間随想 新作ぞろい〔和尚吉三〕	芸談		《13》片岡仁左衛門	幕間	昭和33・5	和敬書店
幕間随想 初出演の中座〔お嬢吉三〕	芸談		《5》沢村訥升	幕間	昭和33・5	和敬書店
お嬢吉三	芸談		《17》中村勘三郎	演劇界	昭和34・1	演劇出版社
土左衛門伝吉	芸談		《8》市川中車	演劇界	昭和34・1	演劇出版社
顔見世二座対談劇評 [昭和33・12歌舞伎座]	劇評	三宅三郎 戸板康二		演劇界	昭和34・1	演劇出版社

歌舞伎名作鑑賞 三人吉三	鑑賞	大岩精二		劇評	昭和34・1	「劇評」社
顔見世第二回興行 [昭和33・12歌舞伎座]	劇評	加賀山直三		劇評	昭和34・1	「劇評」社
顔見世大歌舞伎 [昭和33・12歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		幕間	昭和34・1	和敬書店
気になった明暗 [昭和34・2東横ホール]	劇評	草壁知止子		演劇界	昭和34・3	演劇出版社
菊五郎劇団の若手劇 [昭和34・2東横ホール]	劇評	加賀山直三		劇評	昭和34・3	「劇評」社
幕間随想 梶原は大物〔和尚吉三〕	芸談		《3》河原崎権十郎	幕間	昭和34・3	和敬書店
地味な狂言立 [昭和34・2東横ホール]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和34・3	和敬書店
名作案内 三人吉三	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	昭和34・9	演劇出版社
三人吉三(三人吉三廓初買)	解説	戸板康二		『歌舞伎鑑賞入門』		創元社 昭和34年12月
三人吉三廓初買	解説			『演劇百科大事典』	第三卷	昭和35年10月 平凡社 ※演劇博物館／編
内容的にもタップリ [昭和37・12東横ホール]	劇評	大木豊		演劇界	昭和38・1	演劇出版社
小鍛冶とお嬢吉三	芸談		《3》市川猿之助	演劇界	昭和38・11	演劇出版社
大役「鏡獅子」〔和尚吉三〕	芸談		《4》坂東鶴之助	演劇界	昭和38・11	演劇出版社
お富とお坊吉三	芸談		《5》沢村訥升	演劇界	昭和38・11	演劇出版社
成長示す、鶴、訥、猿トリオ [昭和38・10新橋演舞場]	劇評	永井孝男		演劇界	昭和38・11	演劇出版社
伝統演劇の廃園 [昭和41・2歌舞伎座]	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和41・3	演劇出版社
可能性のかぶき [昭和43・1東横劇場]	劇評	上総英郎		演劇界	昭和43・2	演劇出版社

梅幸、松緑奮闘す [昭和43・10名古屋御園座]	劇評	殿島蒼人		演劇界	昭和43・11	演劇出版社
七五調セリフの考察 抒情的”様式”の定着と、その危険	評論	山口廣一		季刊雑誌歌舞伎	第3号	昭和44年1月 松竹株式会社演劇部
白浪狂言考 歌舞伎の「悪」のひとつのかたち	研究	服部幸雄		季刊雑誌歌舞伎	第3号	昭和44年1月 松竹株式会社演劇部
「三人吉三」の和尚吉三・文里	芸評	永井啓夫	《4》市川小団次	『市川小団次 四代』		昭和44年2月 青蛙房
監修のことば はじめに	演出	利倉幸一		国立劇場第四七回歌舞伎公演解説書	昭和47・1	国立劇場事業部
黙阿弥と「三人吉三」三世関三のことなど	鑑賞	河竹登志夫		国立劇場第四七回歌舞伎公演解説書	昭和47・1	国立劇場事業部
三人吉三の思い出	鑑賞	三宅三郎		国立劇場第四七回歌舞伎公演解説書	昭和47・1	国立劇場事業部
河竹黙阿弥の一生	鑑賞			国立劇場第四七回歌舞伎公演解説書	昭和47・1	国立劇場事業部
三人吉三の世界	鑑賞			国立劇場第四七回歌舞伎公演解説書	昭和47・1	国立劇場事業部
歌舞伎講座 世界と趣向〔八百屋お七〕	鑑賞	(M)		国立劇場第四七回歌舞伎公演解説書	昭和47・1	国立劇場事業部
歌舞伎名作選 「三人吉三」陰惨極まりない正月狂言	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和47・1	演劇出版社
江戸と東京のつながり [昭和47・1国立劇場]	劇評	利根川裕		演劇界	昭和47・2	演劇出版社
寿初春大歌舞伎 [昭和48・1歌舞伎座]	劇評	郡司正勝		演劇界	昭和48・2	演劇出版社
鴈治郎の「大晏寺堤」が逸品 [昭和48・12京都南座]	劇評	藤田洋		演劇界	昭和49・1	演劇出版社
三人吉三よもやま話	鑑賞	円地文子		国立劇場第九〇回歌舞伎公演解説書	昭和53・1	国立劇場事業部
「関の扉」を推奨する [昭和53・1国立劇場]	劇評	小野英一		演劇界	昭和53・2	演劇出版社

賞讃すべき「寺子屋」 [昭和54・1歌舞伎座]	劇評	小野英一		演劇界	昭和54・2	演劇出版社
世話物と舞踊と新歌舞伎 [昭和56・6大阪中座]	劇評	藤井康雄		演劇界	昭和56・7	演劇出版社
老熟の芸と若手の充実 [昭和57・2歌舞伎座]	劇評	二川清		演劇界	昭和57・3	演劇出版社
三人吉三廓初買／三人吉三巴白浪	解説	河竹登志夫		『歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編
お七吉三物	解説	原道生		『歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編
白浪物	解説	井草利夫		『歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編
三人吉三廓初買／三人吉三巴白浪	解説	河竹登志夫		『(新版)歌舞伎事典』		平成23年3月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編
お七吉三物	解説	原道生		『(新版)歌舞伎事典』		平成23年3月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編
白浪物	解説	井草利夫		『(新版)歌舞伎事典』		平成23年3月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編
無人の割には賑やか [昭和59・1浅草公会堂]	劇評	二川清		演劇界	昭和59・2	演劇出版社
喜寿の盛綱 [昭和61・1歌舞伎座]	劇評	中村哲郎		演劇界	昭和61・2	演劇出版社
名優の花、花形の実 [昭和62・12京都南座]	劇評	藤井康雄		演劇界	昭和63・1	演劇出版社
三人吉三廓初買のお嬢吉三／三人吉三廓初買の和尚吉三	解説	延広真治		国文学 解釈と教材の研究 臨時増刊号「古典文学作 中人物事典」	平成1・7	学燈社
前進座の野心的な「三人吉三」 [平成1・5国立劇場]	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成1・7	演劇出版社
白浪物そして因果物 [平成2・2歌舞伎座]	劇評	戸板康二		演劇界	平成2・3	演劇出版社
「三人吉三巴白浪」三人吉三	型 鑑賞	志野葉太郎		『歌舞伎 型の伝承』		平成3年11月 演劇出版社

特集 河竹黙阿弥上之巻	特集			演劇界	平成4・1	演劇出版社
特集 河竹黙阿弥上之巻 江戸の世紀末	鑑賞	上村以和於		演劇界	平成4・1	演劇出版社
特集 河竹黙阿弥上之巻 黙阿弥のセリフのリズムとテンポ	鑑賞	山川静夫		演劇界	平成4・1	演劇出版社
特集 河竹黙阿弥下之巻	特集			演劇界	平成4・2	演劇出版社
特集 河竹黙阿弥下之巻 黙阿弥世話物十選	解説	林京平		演劇界	平成4・2	演劇出版社
佳作・丸橋忠弥と御所の五郎蔵 [平成4・2歌舞伎座]	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成4・3	演劇出版社
三人吉三廓初買	鑑賞	石橋健一郎		『歌舞伎見どころ聞きどころ 芸談でつづる歌舞伎鑑賞』		平成5年5月 淡交社
面白い「三人吉三」 [平成5・5歌舞伎座]	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成5・6	演劇出版社
三人吉三巴白波(三人吉三)	解説	水落潔		『歌舞伎鑑賞辞典』		平成5年9月 東京堂出版
明治座の春の泡雪 [平成6・2明治座]	劇評	中村哲郎		演劇界	平成6・3	演劇出版社
合計年齢七十五歳の『勸進帳』 [平成6・3京都南座]	劇評	森西真弓		演劇界	平成6・4	演劇出版社
生命と貨幣「三人吉三廓初買」の構造	研究	佐谷眞木人		歌舞伎 研究と批評	15	平成7年6月 歌舞伎学会
佳品・和尚吉三と「達陀」 [平成8・2歌舞伎座]	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成8・3	演劇出版社
三人吉三廓初買 稲瀬川庚申塚の場	台帳			『近世文学選 芸能篇』		平成8年4月 和泉書院 荻田清・河合眞澄・土田衛・廣瀬千紗子／編 「読売新聞」明治21年の連載を底本とする。
父と子の花の歳月 [平成8・10名古屋御園座]	劇評	藤澤夏生		演劇界	平成8・11	演劇出版社
団菊祭だが重の井を [平成9・5歌舞伎座]	劇評	上村以和於		演劇界	平成9・6	演劇出版社

女装の男たち	評伝	渡辺保		『黙阿弥の明治維新』		平成9年10月 新潮社
賑わうこんびら歌舞伎 [平成10・4香川金丸座]	劇評	萩原雪夫		演劇界	平成10・6	演劇出版社
菊五郎、十年ぶりの法界坊 [平成11・2大阪松竹座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成11・3	演劇出版社
汐見の見得の団十郎 [平成12・2歌舞伎座]	劇評	天野道映		演劇界	平成12・3	演劇出版社
充実のかげにあるもの 上半期の歌舞伎 [平成12・2歌舞伎座]	劇評	近藤瑞男		歌舞伎 研究と批評	26	平成12年12月 歌舞伎学会
来世紀へのステップ [平成12・2歌舞伎座]	劇評	富士務		歌舞伎 研究と批評	26	平成12年12月 歌舞伎学会
特集 かぶき江戸事件簿 黙阿弥の見た江戸人間関係	鑑賞	清水一朗		演劇界	平成12・6	演劇出版社
特集 かぶき江戸事件簿 名優たちの悪党ぶり	鑑賞	萩原雪夫		演劇界	平成12・6	演劇出版社
「三人吉三」別解 [平成13・6シアターコクーン]	劇評	児玉竜一		演劇界	平成13・8	演劇出版社
演出権のありか [平成13・6シアターコクーン]	劇評	長谷部浩		演劇界	平成13・8	演劇出版社
監修のことば 半世紀ぶりの復活通し上演	演出	河竹登志夫		国立劇場第二二七回歌舞伎公演解説書	平成13・12	日本芸術文化振興会
「三人吉三」脚本の妙味と印象に残る所演	鑑賞	志野葉太郎		国立劇場第二二七回歌舞伎公演解説書	平成13・12	日本芸術文化振興会
因果・犬死・近親相姦 ふびんで因果なおとせ・十三郎	鑑賞	高田衛		国立劇場第二二七回歌舞伎公演解説書	平成13・12	日本芸術文化振興会
黙阿弥の見た幕末江戸の景観	鑑賞	中川恵司		国立劇場第二二七回歌舞伎公演解説書	平成13・12	日本芸術文化振興会
活かされた原作・活かされぬ原作 [平成13・12国立劇場]	劇評	大岩精二		演劇界	平成14・2	演劇出版社
金丸座初の世話物通し狂言 [平成15・4香川金丸座]	劇評	関容子		演劇界	平成15・7	演劇出版社

競い合う花形歌舞伎 [平成16・1浅草公会堂]	劇評	大島幸久		演劇界	平成16・3	演劇出版社
あくまで真女方として [平成16・2歌舞伎座]	劇評	長谷部浩		演劇界	平成16・4	演劇出版社
「三人吉三廓初買」考	研究	今岡謙太郎		歌舞伎 研究と批評	33	平成16年8月 歌舞伎学会
黙阿弥劇 その美学と遺産	研究	吉田弥生		『江戸歌舞伎の残照』		平成16年9月 文芸社
江戸世話物と義太夫狂言の魅力 [平成17・9福岡博多座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成17・11	演劇出版社
異本「三人吉三」 [平成18・1前進座劇場]	劇評	渡辺保		『渡辺保の歌舞伎劇評』		平成21年12月 角川学芸出版
茹蟄のおいぼ／和尚吉三／お嬢吉三／おとせ／お坊吉三／釜屋武兵衛／木屋文里／源次坊／鷺の首の太郎右衛門／十三郎／土左衛門伝吉／一重／八百屋久兵衛／与九兵衛	解説	今岡謙太郎		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
誌上舞台鑑賞 三人吉三 大川端の場	研究	児玉竜一		国文学	第52巻第1号	平成19年1月 学燈社
舞台の次元を越え別世界へ [平成19・6シアターコクーン]	劇評	秋山衆一		演劇界	2007年6月月報	平成19年7月 演劇出版社
顔見世総濠い [平成19・11歌舞伎座]	劇評	上村以和於		演劇界	平成20・1	演劇出版社
絢爛たる「二人道成寺」 [平成21・2歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成21・4	演劇出版社
「三人吉三廓初買」和尚吉三の造形	研究	埋忠美沙		演劇映像学 演劇博物館グローバルCOE紀要	2009(4)	平成11年 早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム
忠義と因果・百両二題 [平成21・11新橋演舞場]	劇評	犬丸治		演劇界	平成22・1	演劇出版社
三人吉三／三人吉三廓初買／三人吉三巴白浪	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題 中』		平成22年3月 日本芸術文化振興会 ※「歌舞伎資料選書・11」
さよなら歌舞伎座 [平成22・4歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成22・6	演劇出版社
若手黙阿弥劇・二題 [平成23・1浅草公会堂]	劇評	犬丸治		演劇界	平成23・3	演劇出版社

三人吉三廓初買	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題 下の二』		平成24年1月 日本芸術文化振興会 ※「歌舞伎資料選書・11」
三人吉三 綽名で呼ばれた男たち	鑑賞	古井戸秀夫		国立劇場第二七七回歌舞伎公演解説書	平成24・1	日本芸術文化振興会
幕間のひととき 節分	鑑賞	中川俊宏		国立劇場第二七七回歌舞伎公演解説書	平成24・1	日本芸術文化振興会
お嬢吉三の声 [平成24・1国立劇場]	劇評	上村以和於		演劇界	平成24・3	演劇出版社
顔合わせの充実 [平成24・6福岡博多座]	劇評	坂東亜矢子		演劇界	平成24・8	演劇出版社
三人吉三廓初買	解説	岩井眞實		『(最新)歌舞伎大事典』		平成24年7月 柏書房 神山彰・丸茂祐佳・児玉竜一／編集 富澤慶秀・藤田洋／監修
第三部圧勝 [平成25・5歌舞伎座]	劇評	渡辺保		演劇界	平成25・7	演劇出版社
大顔合わせの面白さ [平成25・5歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成25・7	演劇出版社
西と東と [平成25・5歌舞伎座]	劇評	西村彰朗		演劇界	平成25・7	演劇出版社
雪はすべての因果を浄化するか。 [平成26・6シアターコクーン]	劇評	長谷部浩		演劇界	平成26・8	演劇出版社
「若さ」ゆえの愉しみ [平成28・1浅草公会堂]	劇評	犬丸治		演劇界	平成28・3	演劇出版社
今年八十年の「團菊祭」 [平成28・5歌舞伎座]	劇評	犬丸治		演劇界	平成28・7	演劇出版社
十八代目勘三郎の遺産 [平成30・10歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成30・12	演劇出版社
黙阿弥初期の白浪物と「三人吉三廓初買」	研究	今岡謙太郎		日本文学	平成30・10	日本文学協会
十一年ぶりの「お祭佐七」 [令和1・10歌舞伎座]	劇評	石山俊彦		演劇界	令和1・12	演劇出版社